所属	看護医療学部 看護学科	職位	准教授	氏名(学位)	草野純子（修士（人間科学)）
所属学会	日本看護学教育学会、日本看護研究学会、日本看護科学学会、日本国際情報学会、日本生命倫理学会、日本哲学界、日本放射線看護学会、日本公衆衛生学会、日本生体医工学会				
専門領域	基礎看護学				
研究テーマ	情報学、ケアリング、スピリチュアルケア、教育学、看護哲学、技術教育、食育、防災				

Ⅰ　主な教育活動

教育実践上の主な実績

1　教育･内容の工夫（授業評価等を含む）	学生のパフォーマンス能力を高め学習意欲が向上するように、ロールプレイングを用いたり、キーワードテストやポートフォリオ作成を行うなど、学生が学習してきた振り返りがしやすいような授業構成を行った。
2　作成した教科書、教材、参考書	基礎看護実習等の手引きを作成した。看護過程で用いる事例を作成した。点滴静脈注射の準備、固定法のビデオを作成し、イメージ化を図った。
3　教育方法・教育実践に関する発表、講演等	
4　その他教育上特記すべき事項	

Ⅱ　主な研究活動

種別	著書・論文等の名称	単著 共著	発行年月	発行所、発表雑誌（および巻・号数）等の名称	編者・著者名（共著の場合のみ記入）	頁数
学術論文	・タッチの意義考察-現在の AI の特徴とタッチ文献からの比較	共著	2019 年 12 月	日本国際情報学会「文化情報研究」第 1 号	**草野純子**、林香純、安田裕子	65－75
	・安楽死に関する質問紙調査を手がかりに死生観を育む看護教育の検討―スピリチュアリティの視点からの考察―	共著	2019 年 12 月	日本国際情報学会「文化情報研究」第 1 号	安田裕子、倉島幸子、**草野純子**、牧野美樹	76-89
	・日本における「ケアリング」研究の動向と課題―「ケアリング実践」に関する研究の看護・社会背景からの検討	共著	2021 年 3 月	日本国際情報学会「文化情報研究」第 2 号	柿原加代子､草野純子、林香純	18-29
	・タッチの効果について一触れる部位・触れる方法に焦点をあてて	共著	2021 年 3 月	日本国際情報学会「文化情報研究」第 2 号	林香純、**草野純子**	30-36
	・手の力の可能性―触れることの影響力について事例からの考察	共著	2021 年 3 月	日本国債情報学会「文化情報研究」第 2 号	草野純子、林香純、柿原加代子、安田裕子	37－45
	・Issues of Online Communication during the COVID-19 Pandemic―Based on the Experience of Group Discussions via Spatial Chat―	単著	2022 年 3 月	Japanese Society for Global Social and Cultural Studies, “Culturalinformation research”No.3		30-37
	・看護師がタッチの活用に必要なこと－Estarbrooks によるタッチング理論を用いて－	共著	2022 年 3 月	日本国際情報学会「文化情報研究」第 3 号	林香純、**草野純子**	24-29
	・安全な筋肉注射の施行方法について	共著	2023 年 3 月	生物試料分析学会「生物試料分析」Vol.46,No2(2023)	草野純子、柿原加代子	1－7
	・Trends and Issues in Research on “Caring” in Japan: Focusing on the Educational Benefits of Caring	共著	2023 年 10 月	Japanese Society for Global Social and Cultural Studies, “Culturalinformation research”No.4	KayokoKakihara,**Junko Kusano**	1－5
	・タッチの減少に伴う対象者・看護師への影響について	共著	2023 年 10 月	日本国際情報学会「文化情報研究」第 4 号	林香純、**草野純子**	11―17
紀要	・看護学生とともに創る食生活改善プログラムの効果	共著	2019 年 12 月	愛知医科大学看護学部紀要第 18 号	二村純子、安達内美子、**草野純子**、坂本真理子、西川和裕	13－23
	・コロナ禍での基礎看護学実習Ⅰ（日常生活行動援助）における学生の学び	共著	2024 年 3 月	四日市看護医療大学紀要第 17 巻、第 1 号	中村いお美、林香純、澤木美貴、**草野純子**	1－12

Ⅲ　主な学会活動			
発表(報告)名等	単独 共同	発表年月	学会名等
・触れる部位・触れ方に焦点をあてたタッチの効果についての文献検討	共同	2019 年 8 月	日本看護研究学会学術集会
・タッチ研究の動向と看護の変遷・社会動向の関連	共同	2019 年 8 月	日本看護研究学会学術集会
・多様性社会におけるイノベーション創出のための 発想力育成教育の考察	単独	2019 年 12 月	日本国際情報学会 2019 年度大会
・ Trends and Challenges in Research On ”Caring” in Japan-The Nursing and Social Perspectives	共同	2020 年 1 月	EAFONS2020 23rd East Asian Forum of Nursing Scholars
・comparison of Nursing Student’s Answers to a Survey on Euthanasia in Their First and Third Year:Cultivating Perspectives on Death and Dying through Spiritual Care Education	共同	2020 年 1 月	EAFONS2020 23rd East Asian Forum of Nursing Scholars
・Why Touch Research is Necessary in the AI Era-Based on a Literature Review on Touch and Caring	共同	2020 年 1 月	EAFONS2020 23rd East Asian Forum of Nursing Scholars
・Improvement of Curriculum Evaluation on the Development of Nursing Practice Ability in Basic Nursing Education for Students and Nurse Graduates	共同	2020 年 1 月	EAFONS2020 23rd East Asian Forum of Nursing Scholars
・Learning Effects of Simulated Case Study Conferences by Nursing Students and Pharmacy Students	共同	2020 年 1 月	EAFONS2020 23rd East Asian Forum of Nursing Scholars
・手の力の可能性―触れることの影響力について事例からの考察	単独	2020 年 12 月	日本国際情報学会 2020 年度　大会
・コロナ禍における仮想空間 spatial chat を用いたグループディスカッションについて	単独	2021 年 12 月	日本国際情報学会 2021 年度　大会
・安全な筋肉注射の施行方法について(解説)	共同	2022 年 3 月	第 31・32 回生物試料分析科学学会合同年次学術集会
・ Challenges of panel discussion using virtual space ″spatial chat″ during the COVID-19 pandemic	共同	2023 年 3 月	EAFONS2023 26rd East Asian Forum of Nursing Scholars
・Impact of decreased touch on subjects and nurses	共同	2023 年 3 月	EAFONS2023 26rd East Asian Forum of Nursing Scholars
・Trends and Issues in Research on “Caring” in Japan: Focusing on the Educational Benefits of Caring	共同	2023 年 3 月	EAFONS2023 26rd East Asian Forum of Nursing Scholars
・Trends and Challenges of ″Caring″ Research in Japan: Focusing on Definition and Evaluation Standards of Education and Research on Caring	共同	2023 年 3 月	EAFONS2023 26rd East Asian Forum of Nursing Scholars

Ⅳ　社会における主な活動	
活動期間	活動内容等
2019 年 12 月～2020 年 12 月	日本国際情報学会　2020 年度　大会・総会　学術大会実行委員長
2020 年 12 月	日本国際情報学会　2020 年度大会　第 1 会場　座長
2020 年 12 月～2021 年 12 月	日本国際情報学会　2021 年度　大会・総会　学術大会実行委員
2021 年 10 月～2022 年 3 月	三重県看護研究会　査読委員
2022 年 3 月	第 31・32 回生物試料分析科学学会合同学術集会　講演
2023 年 10 月～	三重県看護研究会　査読委員